【No. 1】

次は,洋装本の図である。(1)~(4)の名称を答えなさい。





【解答欄】

(1)

- (2)
- (3)

(4)

【No. 2】

閲覧方式のうち,「閉架式」のメリットとデメリットについて,それぞれ2つ簡潔に答 えなさい。

【解答欄】

メリット1:

2 :

デメリット1:

2 :

[No. 3]

次は,参考図書の特徴を記述したものである。(1)~(3)の書名を答えなさい。

- (1)正字のほか,略字,俗字,国字など親字は約5万。熟語,故事名言,格言などのほか,人名,地名,動植物名,書名,事件名など熟語は約50万。さまざまな事物事項 名などを合わせて収録する。13冊及び別巻2冊からなる。解説には用例,出典のほか,しばしば挿絵を加えている。
- (2)慶応3(1867)年までに日本人によって書かれ,あるいは編纂され,あるいは 翻訳された図書で,図書館や文庫などに所蔵されているもの約50万点を書名の五十 音順に排列している。各記載事項は,書名のもとの読み,巻冊,角書,別称,内容の 分野,著者名,成立年,写刊の別,活字本の有無,所収叢書名,所在箇所などからな る。
- (3) 和歌集に収録された和歌を, いずれの句からでも探せるようにした詩歌索引。もとの歌からすべての句を抽出し, 五十音順に排列している。そのため, 上の句を知らない場合でも特定の語で終わる和歌を探すことができる。1983年~1992年に刊行。CD-ROM版も出ている。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

[No. 4]

次は,海外のデータベースの概要を示したものである。該当するデータベース名を下か ら選んで記号で答えなさい。

- (1) CAS が提供する化学分野の文献データベースである。文献情報だけでなく化学物質 情報も検索できる。
- (2) IEE が作成する物理学,電気工学,エレクトロニクス,コンピュータ分野の文献デ ータベースである。
- (3) NLM が作成する医学分野の世界最大の文献データベースである。
- (4) Thomson Scientific 社が提供する全分野の文献データベースである。書誌情報に加 えて引用情報を検索できる。

a . BIOSIS	b . EconLit	c . Ei Compendex	d . ERIC
e . GeoRef	f . INSPEC	g . JDream	h . J-STAGE
i . MEDLINE	j . PsycINFO	k . SciFinder	l . SCOPUS
m . Web of Science			

	(1)	(2)	(3)	(4)
--	-----	-----	-----	-----

[No. 5]

次は,社会科学分野の情報利用について記述したものである。正しいものには を,正 しくないものには×を答えなさい。

- (1)衆議院,参議院の会議録は,国立国会図書館が提供する「国会会議録検索システム」によって検索,入手することができる。現在,第1回国会以降の本会議と予算委員会の会議録が利用可能である。このシステムでは,質疑などの議事内容の部分と会議録情報(日付,出席者,案件など)の部分について全文検索が可能である。
- (2)公布された法令をもっとも早く知る手段は、「官報」を閲覧することである。ウェブ 上では、国立印刷局が提供している「インターネット版「官報」」を利用できる。この システムでは、1年間分の「官報」(本紙、号外、政府調達等)を無料で閲覧でき、 印刷やダウンロードも可能となっている。
- (3)裁判所のウェブサイトでは,戦後の最高裁判所,高等裁判所の判例が検索できる。地 方裁判所や簡易裁判所の判例も2001年以降分は検索が可能である。このシステム では,事件番号,裁判年月日,事件名,参照法条などから判例を検索することが可能 である。

【解答欄】

(1) (2) (3)

[No.6]

次は,大学図書館における図書館資料の利用及び複写に関する記述である。我が国の現 行著作権法に照らし,著作権者の許諾や,個別の契約によらず大学図書館が適切に行える ものには を,適切でないものには×を答えなさい。

- (1)会議で利用するため,最新号ではない雑誌に掲載されていた論文を人数分複写し, 提供する。
- (2)視覚障害を持つ学生のために,自館で所蔵している市販の図書を点字化し,提供する。
- (3)利用者の依頼により,複数の著者の論文が10数編収録された図書について,その 中の1論文を全ページ複写し,提供する。
- (4)劣化の激しい自館所蔵資料について,資料の保存を目的にマイクロフィルム化する。

【解答欄】

(1) (2) (3) (4)

[No.7]

次は,我が国の国立国会図書館についての記述である。(1)~(3)に該当する名称 を答えなさい。

国立国会図書館は,日本における唯一の納本図書館で,国立国会図書館法に定められた 納本制度により,日本国内の出版物を広く収集している。このようにして収集された出版 物はすべて (1) に収録し,毎週ホームページで提供している。その磁気テー プ版の (2) は,他の図書館でも目録を作成するために利用されており,CD-ROM 版や DVD-ROM 版の頒布も行われている。

また,国立国会図書館では,所蔵する和・洋の図書,和・洋の雑誌・新聞,電子資料, 和古書・漢籍,地図,音楽録音・映像資料,規格などの一般資料や,雑誌記事索引などの 特定資料が検索できる (3) を提供している。このシステムでは,あらかじめ 利用者登録をしておくと,館内での閲覧の予約,資料の複写の申込み,申込み状況の確認 をすることができる。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

[No. 8]

インパクトファクターとは何か簡潔に答えなさい。

[No. 9]

次は,マイクロ資料の特質を記述したものである。(1)~(3)に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。

1) 縮小性

マイクロ資料には,かさばる資料をまとめて保存するという高い記録密度がある。縮小率は面積比で原資料の (1) から2500分の1といわれる。印刷資料だけでなく,博物館資料など立体資料も整理・利用しやすい形態にできる。

2) 耐久性

マイクロ資料は,保管が適切であれば(温度21度以下,湿度) (2)),半 永久的に持つといわれる。50年くらいで再び新しいフィルムに転写することによって保 存継続が可能である。新聞・雑誌などは単行書に比べ劣化しやすいので,マイクロ化は長 期保存に役立つ。

3) 定型性

原資料の形がどうであれ,マイクロ資料は一定化しているので保管が容易であり,管理 しやすい。反面, (3) に時間がかかるものが多い。そのため,インデックス などを作成することによって, (3) を容易にする工夫が必要である。

a.10分の1	b . 100 分の 1	c.1000分の1	d . 0~10%
e . 15 ~ 40%	f . 50 ~ 65%	g.解像	h.検索
i. 蓄積	j . 編集		
【解答欄】			
(1)	(2)	(3)	

[No. 1 0]

灰色文献(グレイリテラチャー)について簡潔に答え,その具体的な資料の種別を3つ 答えなさい。

【解答欄】

説明:

種別:

(1)

- (2)
- (3)

【No. 1 1】

次は,我が国の出版流通に関する記述である。(1)~(3)に該当する語句を答えな さい。

- 1)出版物の約65%が,出版社, (1),書店の「業界三者」と呼ばれる3 つを経由する書店ルートを流通している。 (1) は,出版社と書店の間に立って,出版物の情報と物流を支える会社である。
- 2) 出版社が決めた販売価格を書店等が守る販売制度を, (2) という。この 制度により,日本中どこに住んでいても,同じ出版物を同一の価格で購入することがで きる。
- 3) 一定期間内であれば,売れ残った商品を書店が返品できる (3) は,リス クが少ないので書店が安心して商品を仕入れることができる。このほか,書店の仕入れ には返品のできない買切品などもある。

【解答欄】

(1)

- (2)
- (3)

【No. 1 2】

「青空文庫」の特徴について簡潔に答えなさい。

【解答欄】

【No. 1 3】

次は,近代の目録規則の変遷に関する記述である。(1)~(3)に該当する語句を答 えなさい。

- 近代の目録規則の起源として挙げられるのは、大英博物館の館長であった (1)
 が編纂した「(1)
 の91条目録規則」である。この規則では、標目は統一 を行わず参照記入で関連づけられている。
- 2)1876年にボストン・アセニアムの図書館長であった (2)
 書目録編纂の経験から「辞書体冊子目録規則」を発表した。
- 3) 1970年代に目録の機械化や書誌ユーティリティの進展をふまえて制定された
 - (3) に対応することを目的として、「英米目録規則 北米版」と「英米目録 規則 英国版」は両者を統一した形で「英米目録規則第2版」に改訂された。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

【No.14】

次は,洋書の目録規則で使用される略語である。(1)~(3)の意味を簡潔に答えな さい。

- (1) ill.
- (2) s.l.
- (3) s.n.

【解答欄】

(1)

- (2)
- (3)

[No. 1 5]

「日本目録規則1987年版改訂3版」に基づき,(1)~(3)については出版年を, (4),(5)については大きさを答えなさい。

(1) 奥付:

ライトハウス英和辞典

1972年 研究社ユニオン英和辞典 初版

1978年 研究社ユニオン英和辞典 第2版

1984年 (改称) ライトハウス英和辞典 初版

1991年 ライトハウス英和辞典 第2版

1993年 第11刷

(2) 奥付:

零の発見

1939年11月27日 第1刷発行
1956年11月17日 第22刷改版発行
1979年4月20日第52刷再改版発行
2005年2月15日第97刷発行

(3) 奥付:

歴史とは何か

1962 年 3 月 20 日 第 1 刷発行 2001 年 2 月 5 日 第 65 刷発行

(4) 本のサイズ:縦 18.3cm ,横 26.5 cm

(5) 本のサイズ:縦 17.3cm ,横 11.2 cm

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	

【No.16】

次は,各図書を「日本十進分類法新訂9版」に基づき第3次区分表(3桁)で分類した ものである。 に該当する数字(0~9)を答えなさい。

(1)岩波西洋人名辞典		0
(2)世界の大学危機(潮木守一)		7
(3)日本の歴史(井上清)		0
(4)ファインマン物理学(ファインマン)		0
(5)漱石全集(夏目漱石)	9	

(1) (2) (3) (4)	(5)
-----------------	-----

【No. 1 7】

次のシソーラス表 (一部) で ,(a) ~ (c), RT , UF はシソーラス中の語の関係など を表す記号である。(a) ~ (c) に該当する記号を答えなさい。

ACADEMIC LIBRARIES

- (a) LIBRARIES
- (b) COMMUNITY COLLEGE LIBRARIES
- RT LIBRARY SCHOOLS

CHILDREN'S LIBRARIES

- (a) LIBRARIES
- RT STORYTELLING

COMMUNITY COLLEGE LIBRARIES

(a) ACADEMIC LIBRARIES

DIGITAL LIBRARIES

(a) LIBRARIES

LIBRARIES

(b) ACADEMIC LIBRARIES CHILDREN'S LIBRARIES DIGITAL LIBRARIES

LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE

- SNStudy of the properties of information; specifically its generation,
systematic collection, organization, communication, preservation, storage
and use.
- UF LIBRARY AND INFORMATION STUDIES LIBRARY SCIENCE
- RT DISCOURSE ANALYSIS

INFORMATION SCIENTISTS

LIBRARY SCIENCE

(c) LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE

LIBRARY SCHOOLS

RT ACADEMIC LIBRARIES LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE

【解答欄】

(a) (b) (c)

【No. 1 8】

NACSIS-CAT システムにおける総合目録データベースを構成するファイル名を6つ答えなさい。

【解答欄】

(1)

- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)

【No. 1 9】

情報検索においては,検索結果に対する適合判定により精度と再現率を計算することが できる。次の検索された文献数と適合文献数に関する分割表をもとに,精度と再現率を数 式で答えなさい。

	適合文献	不適合文献
検索された文献	а	b
検索されない文献	С	d

【解答欄】

精度 =

再現率 =

【No. 2 0】

次は,情報検索を行う場合の検索語の選定に関する記述である。(1)~(5)に該当 する語句を下から選んで記号で答えなさい。

検索語の選定に当たっては,選択された情報源で利用可能な検索語,すなわち,

(1)	として使用]されている語句の中か	ら選ばなければな	らない。	
(1)	には ,	(2) と統制	語とがある。		
(2)	は,文南	就の標題,内容を簡潔	こ記述した(3)	中の語句が
対象となる。					
統制語には、シ	/ソー ラス!	中の (4),	(5) 材	票目表の	(5)
などがある。					
a . アクセスポイ	ント ト	o.関連語	c . キーワード		d . 件名
e . 索引語	f	. 参照	g . 自然語		h . 主題
i.抄録	j	. ディスクリプタ	k . ディレクト	IJ	l.同義語
m . 分類					
【解答欄】					
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	

【No. 2 1】

情報検索での論理演算の表記において,後置記法(逆ポーランド記法)が用いられることがある。例えば,以下のとおり表記され,括弧を用いずに論理演算を表現できる。

式	(A-B)×C
後置記法	A B - C ×

次の式を,後置記法で表現したものを下から選んで記号で答えなさい。

式 (A+B)×(C-D×E)

a . A B + C D E × - × b . A B + C D - E × × c . A B + C - D E × × d . A B + D E C × - × e . A B + D E × C - ×

[No. 2 2]

次の図と表は,米国研究図書館での単行書と雑誌の価格等の変動を示したものである。 これらから分かることとして,適切なものには を,適切でないものには×を答えなさい。



注 CPI: Consumer Price Index (消費者物価指数)

Year	Serial Unit Cost	Serial Expenditures	Monograph Unit Cost	Monograph Expenditures	Serials Purchased	Monographs Purchased
No. of Libraries	(38)	(103)	(61)	(99)	(38)	(61)
1986	\$88.55	\$1,517,724	\$99.00	\$1,120,645	16,173	32,425
1987	\$105.48	\$1,770,567	\$31.81	\$1,064,484	16,601	26,204
			(省略)			
1998	\$244.88	\$3,818,832	\$47.59	\$1,486,764	15,166	24,133
1999	\$269.90	\$4,098,075	\$47.05	\$1,506,651	15,260	24,311
2000	\$301.09	\$4,431,593	\$47.59	\$1,657,349	15,223	27,243
2001	\$279.07	\$4,710,371	\$48.09	\$1,864,023	15,342	29,518
Avg. Annual % Change	8.5%	8.4%	3.8%	3.7%	-0.4%	-0.7%

Monograph and Serial Costs in ARL Libraries, 1986-2001 Median Values for Time-Series Trends

- (1) For the first time since 1986, the median serial unit cost declined from a high of over \$300 to slightly less than \$280.
- (2) Libraries spent two times more money on serials compared to 1986, yet they bought 5% fewer serial titles.
- (3) Libraries shifted expenditures from serials to monographs, thereby reducing the median number of serials purchased from 32,425 in 1986 to 29,518 in 2001. This marks a decrease of 26% over the last 15 years, during which the unit cost for monographs increased 68%.
- (4) Since 1986, the average annual increase for the serial unit cost has been 8.5% and for the monograph unit cost 3.8%, both higher than the general inflation trend.

【解答欄】

(1) (2) (3) (4)

[No. 2 3]

次は,英国下院科学技術委員会報告書の要約の一部である。この中で機関リポジトリに 関して勧告している3点を日本語で答えなさい。

Academic libraries are struggling to purchase subscriptions to all the journal titles needed by their users. This is due both to the high and increasing journal prices imposed by commercial publishers and the inadequacy of library budgets to meet the demands placed upon them by a system supporting an ever increasing volume of research. Whilst there are a number of measures that can be taken by publishers, libraries and academics to improve the provision of scientific publications, a Government strategy is urgently needed.

This Report recommends that all UK higher education institutions establish institutional repositories on which their published output can be stored and from which it can be read, free of charge, online. It also recommends that Research Councils and other Government funders mandate their funded researchers to deposit a copy of all of their articles in this way. The Government will need to appoint a central body to oversee the implementation of the repositories; to help with networking; and to ensure compliance with the technical standards needed to provide maximum functionality. Set-up and running costs are relatively low, making institutional repositories a costeffective way of improving access to scientific publications. Institutional repositories will help to improve access to journals but a more radical solution may be required in the long term.

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

[No. 2 4]

次は,図書館関係の団体についての記述である。(1)~(4)に該当する団体名の略 語を下から選んで記号で答えなさい。

(1) It aims at supporting the advancement of library function through close coordination and cooperation among 92 members, promoting inter-library use of scholarly information resources extensively, and contributing development of infrastructures for scholarly information distribution in order to help universities achieve their missions.

It carries out various operations, such as research and investigation that are necessary to advance function of national university library, cooperative maintenance of scholarly information resources, promotion of inter-library use, activities to enhance ability of national university libraries' staffs, and coordination and cooperation with domestic and foreign organization for scholarly information distribution.

- (2) It is the leading international body representing the interests of library and information services and their users. It is the global voice of the library and information profession. Founded in 1927 at an international conference, we now have 1700 members in 150 countries around the world. It is an independent, international, non-governmental, not-for-profit organization. Our aims are to:
 - Promote high standards of provision and delivery of library and information services
 - Encourage widespread understanding of the value of good library & information services
 - Represent the interests of our members throughout the world.
- (3) It, founded in 1892, was continuously promoted the development of libraries and librarianship, and its activities has been supported by countless dedicated librarians for over 100 years. It represents all type of libraries and related organizations in Japan and consists of 6,700 individual members and 2,800 institutional members. In 2001, it held its 87th All-Japan Library Conference. It's mission consists of four basic policies;
 - to be the national information center for all libraries and librarians in Japan.
 - To be an education, training, and career development center for librarians
 - · To cooperate and coordinate all kinds of libraries and library organizations
 - To promote and support international relations activities.

(4) It first met informally as the Consortium of Consortia in 1997. The Coalition continues to be an informal, self-organized group comprising (as of September 2000) nearly 150 library consortia from around the world. The Coalition serves primarily higher education institutions by facilitating discussion among consortia on issues of common interest. At times during the year, it may conduct meetings dedicated to keeping participating consortia informed about new electronic information resources, pricing practices of electronic providers and vendors, and other issues of importance to directors and governing boards of consortia.

a . ALA	b . BLISS	c . ICOLC	d . ICUL	e . IFLA
f . ISN	g . JANUL	h . JISC	i . JLA	j . NCC
k . NLM	l . OCLC	m . RLG		
【解答欄】				
(1)	(2)	(3)	(4)	

[No. 2 5]

次は,A大学図書館での,利用者からの英語での問合せに対する職員の回答である。 A大学図書館の利用案内(抜粋)を参考にして,職員の回答として正しいものには を, 正しくないものには×を答えなさい。

A 大学図書館利用案内(抜粋)

開館日及び開館時間	月~金曜日 午前9時~午後8時	
	土曜日 午前9時~午後5時	
休館日	日曜日・祝日	
貸出冊数と期間	学部学生 図書・雑誌 5冊まで 2週間	
	大学院学生 図書・雑誌 20冊まで 1か月	
貸出更新	1回に限り可能(予約がない場合)。カウンターに図書を持参	
	してください。	
相互貸借	本図書館にない資料は,他大学から取り寄せします。	
学外者の利用	入館申込書にご記入いただくだけで,ご利用いただけます。	

(1) Scene 1

- User (U) : Please tell me the days this library is open and its hours, and what about Saturday and Sunday?
- Librarian (L) : This library is open Monday though Friday from 9:00 a.m. to 8:00 p.m. Saturday and Sunday, the hours are 9:00 a.m. to 5:00 p.m. On holidays, the building is closed.

(2) Scene 2

- U : I am a student at B University. I would like to use this library.
- L : Do you have a letter of introduction?
- U : I don't have a letter.
- L : I'm sorry, but without a letter of introduction, you cannot use the library.

(3) Scene 3

- U: I am a student, how many books can I take out at one time?
- L : Including periodicals, you can borrow five books at one time. Monographs may be borrowed for one month, periodicals for one week.

(4) Scene 4

U : I'd like to renew a book I have checked out.

- L : All right. If no one else has requested it, you can renew it for one more loan period
- U : Can I renew it by telephone?
- L : No, please bring the book to the counter for renewal.

(5) Scene 5

- U : I was told that this book is at C University. Could you contact them for me?
- L : Please wait a few minutes. I'll check. Yes they do have it. They will lend it to this university.

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
--	-----	-----	-----	-----	-----